

受講料・無料

第39回 障害者問題セミナー



研修修了者は、
「シブリングサポーター」に認定！
ピンバッチ・ステッカー贈呈！！

「きょうだい」のこと、 知って・支えるための シブリングサポーター研修 (病気・障害をもつ子どものきょうだいの応援団)

※シブリング(sibling)・・・英語で「兄弟姉妹」のこと。



病気や障害の子どもたちと同じく、そのきょうだいも幼い心に複雑な気持ちや課題を抱えています。まだあまり理解されていません。

この研修ではきょうだい支援について体系的に学んでいきます。きょうだいの気持ちを知り、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？



講師

NPO法人しぶたね 理事長 清田悠代さん

◇とき：2022年7月6日(水) 13:30～15:45

◇ところ：筑後市総合福祉センター（筑後市野町680-1）

◇対象：どなたでも（定員20名・市内外は問いません）

問合せ

筑後市社会福祉協議会（筑後市野町680-1）

電話：0942-52-3969 FAX:0942-53-6677

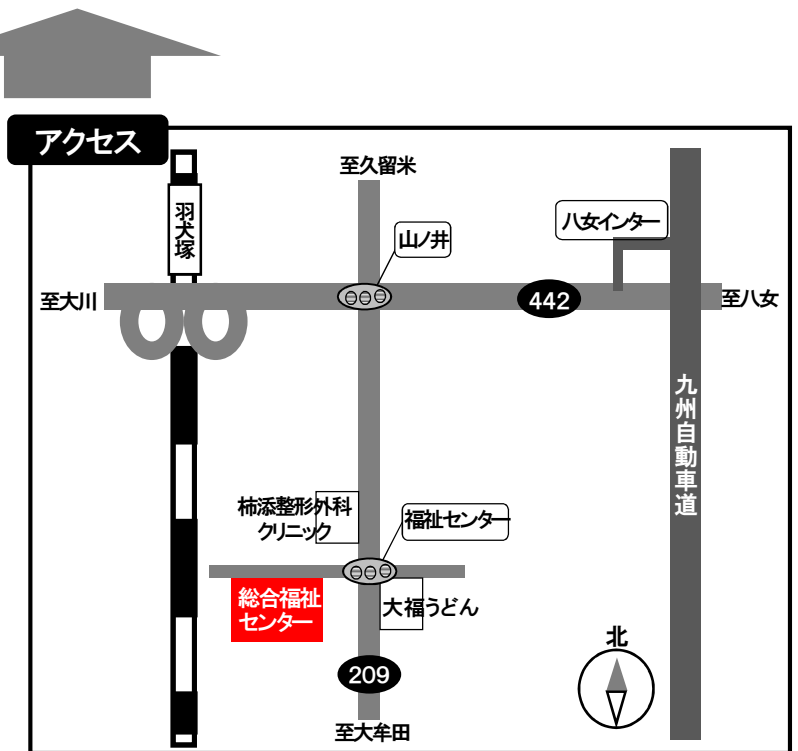
E-Mail：info@chikugo-shakyo.or.jp

★受講申込書(FAX用)

FAX/0942-53-6677

お名前	
住所	
電話	

お名前	
住所	
電話	



NPO法人しぶたねの紹介

めざすもの・・・

病気や障害を持つ子どもの「きょうだい」が抱える複雑な気持ちやしんどさを、きょうだいや家族だけで抱えるのではなく、もっと社会の多くの人で関わっていけることがあるのではと感じ、活動を広げる。



きょうだいたちが、子ども時代を「子ども」として大切に過ごせるように...そして安心感の中で、たくさんの人に愛され、一緒に笑い合い、悲しんだり、支えられ、支えになり...という経験を通して、自分を大切にできる大人になっていけるように、できることを考え続けている。

活動内容・・・

- ①きょうだいを応援するために、病院内で待っているきょうだいと遊んだり、居場所づくりをしたりする活動
- ②きょうだいの声を聴いたり研修会を通して、支援者を広めていくための活動
- ③きょうだいの生きづらさが社会課題として認識され、社会がきょうだいにとってあたたかなものになることを目指し、4月10日の「きょうだいの日（シブリングデー）」にあわせて啓発活動

講師の紹介

●清田 悠代さん / NPO法人しぶたね理事長

自身が中学生の時に弟が病気にかかり、入院する病院で、病棟に入れず長時間泣いて過ごす小さなきょうだいを見てショックを受け、何かできることはないかと考えはじめた。また、その後弟が亡くなり、悲しみ、生きる意味を見失った。そんな時にアメリカのきょうだい支援のを知り、多くのきょうだいと出会って支えられた経験から、日本のきょうだいたちにも「ひとりじゃない」と伝え、思い切り楽しく過ごしてほしい、と活動を広めている。